

数多くの頼れるスタッフを揃え 力強く前進する信頼の足場工事会社

自社・協力会社合わせて30名以上の従業員を抱え、どんな現場にも対応し、信頼ある仕事を果たしている足場工事会社『IS 新光』。その人数・規模のみならず、技術やスピード、顧客の要望に応える柔軟性や仕事への姿勢、あらゆる点で高いレベルを備えている会社だ。同社はどのようにして、質・量に優れた人材を確保していくことができたのか。タレントの板東英二氏が井上社長と竹原部長のお二方にお話を伺い、成功の理由に迫った。

——『IS 新光』さんは関西一円で活躍の建築会社だそうですね。まずは御社の事業内容からお聞かせ下さい。

(井) 当社は大阪府堺市に拠点を構える足場工事会社です。熟練の技術者が多数揃い、戸建住宅やマンションの他、ビルや公共施設など、規模の大小や用途を問わず高品質な足場工事を実現。また現場の立地や建物の形状に合わせて最も効率の良い工法を施工することによるスピードや柔軟性も当社の強みですね。そして日々質の高い施工をご提供すべく精進し、多くの方々からご愛顧いただいています。

——井上社長は、長く建築の仕事をしてこられたのでしょうか。

(井) 17歳ごろに建築の仕事に就いて以来、この道一筋です。かつては美容師を志し、実際に仕事も経験したのですが、後に携わった建築の仕事のほうに断然性に合っていたんですね。そして建築の仕事に邁進する中で、営業部長の竹原と出会いました。



代表取締役

井上 朋宗

——当時は同じ会社の同僚だったんですよ。

(竹) 独立志向の強かった私たちは、その後会社勤めを辞め、それぞれ一人親方として活動しました。そして「一人よりも二人のほうがもっと大きく事業を成長させられる」と考えたことから、この『IS 新光』で共に歩むようになったのです。一人親方の時代にも色んな現場で知識を得ることができ、今につながっていると感じます。

——お二人とも力強く邁進してこられたんですね。竹原部長から見た、社長の強みとは何でしょうか。

(竹) 人間性ですね。井上は何があっても決して人を怒鳴ったり、理不尽に怒ったりしませんし、従業員の前で弱音を吐くこともありません。建築業界は性格の激しい人が多いですし、危険の伴う足場工事では、ついつい声を荒げて叱咤してしまうもの。しかし井上は危険なことや気をつけるべきことはもちろん注意しますが、決して感情的にならないのです。そういう穏やかで誠

人々が働きたいと思える、業界でも稀有な武器

熟練の職人技からくる品質、スピード、安全性、どんな仕事にも応える柔軟性——様々な点で高品質な足場工事を果たし、関西エリアで存在感を高めてきた『IS 新光』。同社の強みは「皆が働きたい環境、働きやすい環境」にある。井上社長と竹原部長は、タイプは少し異なるものの、共に働き手を何より大切に作る好人物。そんな彼らの人間性を慕って、多くの働き手が同社に集ってきた。その人材たちが環境の良さ故に長続きし、学び、良き職人へと成長していったのだ。入れ替わりが激しく、人が続かないことで知られる業界にあって、それは何よりの武器と言えるだろう。今後は営業スタッフも加え、さらに高みを目指さんとする同社。今後大きな成長が期待される注目の企業の一つだ。